

訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

浴槽を提供して居宅での入浴援助を行い、利用者の身体の清潔保持、心身機能の維持等を図る

	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護
看護職員 (看護師・准看護師)	1人以上	
介護職員	2人以上	1人以上

※看護職員と介護職員で行うサービスだが、利用者の体調が安定していれば主治医の意見を確認のうえ、介護職員だけで行える（減算される）

※他に減算されるケース

全身入浴が困難で、利用者の希望により清拭または部分浴を実施

同一建物等に居住する利用者にサービス提供

※利用者が短期入所生活介護、短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護、看護小規模多機能型居宅介護を受けている間は、訪問入浴介護費は算定しない。

1

1

問題 54 介護保険における訪問入浴介護について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 訪問入浴介護で使用する浴槽は、利用者又はその家族が用意しなければならない。
- 2 利用者が小規模多機能型居宅介護を利用している場合には、訪問入浴介護費は算定できない。
- 3 利用者の身体状況等に支障がない場合には、主治の医師の意見を確認したうえで、介護職員3人で実施することができる。
- 4 訪問入浴介護費は、サービス提供時間によって2区分に分けられている。
- 5 利用者の心身状況及びその希望によって清拭に変更になった場合には、訪問入浴介護費は減算される。

2

2

問題 54 介護保険における訪問入浴介護について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 訪問入浴介護の目的には、心身の機能の維持が含まれる。
- 2 サービス提供の責任者は、入浴介護に関する知識や技術を有する者でなくてもよい。
- 3 緊急時の対応のため、協力医療機関は、事業の通常の実施地域内にあることが望ましい。
- 4 皮膚に直に接するタオル等は、利用者一人ごとに取り替えるなど、安全清潔なものを使用する。
- 5 事業所の専用の事務室には、利用申込の受付や相談に対応するためのスペースは必要としない。